

教育委員会定例会会議録

開催日時	平成29年11月2日(木) 午前9時00分
開催場所	木城町総合交流センターリパリス1階会議室
出席委員等	委員 原 朋輝 委員 柄本奈津美
	委員 鳴海 良廣 委員 牛田 裕子
	教育長 中竹 聖子
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 西田誠司 専門監 外山保宏 補佐 白岩修 学校教育係長 長友三保 給食センター係長 渡邊 千里

・教育委員会定例会の開催

議長選出：中竹教育長に議長をお願いしました。

議題及び議事

(1) 11月期定例会会議録署名委員の指名(中竹教育長・原委員)

(2) 10月期定例会会議録承認について(中竹教育長・鳴海委員)

事前に送付していた10月期定例会議事録について、承認され、両名において署名

(3) 協議事項

就学援助認定について審議

児童生徒の計3名の説明を行い、申請どおり認定

(4) 事務局報告

① 教育長報告

・10月 1日(日) めばえ保育園運動会

年齢に応じた演技等が工夫されており、保護者も楽しめる運動会でありました。

・10月 8日(日) 木城小学校運動会

委員の皆様にも出席いただき有難うございました。3、4年生の福智王は町内在住の長友さんの指導、5、6年生のエイサーは高鍋町の方に指導をして頂きました。また、全児童による盆踊りについては、比木地区の盆踊り保存会の皆様の指導と当日の伴奏等を手伝ってもらい、地域に支援されているのを改めて感じたところです。

・10月11日(水)、13日(金) 小中一貫教育学校視察

委員全員と事務局3名で視察を行いました。詳細につきましては、後の協議の中で協議したいと思います。

・10月15日(日)木城中学校文化祭(木城中学校体育館)

演劇は、進路について悩む生徒を主人公としたもので、等身大の演劇だと感じました。この劇をとおして、中学3年生は学ぶことが多くあったと思います。体育祭終了後、わずかな期間で仕上げたことについては、生徒の力はもちろん、先生方の指導力にも敬意を表したいと思います。また、この文化祭は終日行われるのですが、校長先生からは、生徒たちの努力を半日に集約するのは困難ということでした。

・10月23日(月)日向新しき村開村100周年第1回実行委員会(リパリス)

平成30年に、開村100周年を迎える日向新しき村開村の記念イベントを開催するにあたり第1回の実行委員会を開催しました。事前に、松田省吾さんと協議していた内容等を提案し、協議しました。具体的には、文学碑建立と、写真パネル等の特別展示等を計画しています。今後、回を重ねまして内容等を決定していき、委員の皆様にも報告したいと思います。

また、先日の新聞において、宮崎市内の中学校でいじめによる自殺が発生したという第三者委員会の報告が出されました。自殺した生徒の心のサインを大人が気付かなかったことが悔やまれます。二度とこのようなことが起こらないように、本町においても、いじめ防止対策の徹底と、命の尊さを子どもたちに教育していかなければならないと改めて感じたところです。

・10月19日(木)文化財問題に係る第8回口頭弁論(宮崎市)

裁判の状況等を説明

・10月28日(土)高城合戦シンポジウム(リパリスホール)

原委員におかれましては、前日から講師の方との現地対応等有難うございました。詳細につきましては、後で補佐が報告します。

中竹教育長

何か質問はないでしょうか。

全委員

ありません。

中竹教育長

それでは、行事報告及び行事予定の説明をお願いします。

② 行事報告及び行事予定（課長説明）

10月行事報告）

- ・10月 2日（月）10月期定例教育委員会開催（リパリス）

10月期定例教育委員会の前に、臨時教育委員会を開催しました。新教育委員会制度に伴い、教育委員長を教育長が兼務する制度になりました。また、原委員を新たに教育長職務代理者として選定・決定し、その任期についても、再選を妨げない1年の任期という事を委員全員で確認をしました。

- ・10月21日（土）第33回木城ふるさとまつり（多目的広場）

教育課では、割り箸鉄砲を作成し、ゴムを飛ばしての的当てゲームを行いました。悪天候だったのですが、多くの親子連れ等で賑わいました。次年度以降も趣向を凝らした形で実施していきたいと思っています。

- ・10月26日（水）第2回義務教育の充実を図るための市町村連絡協議会（宮崎市）

文科省の意向を受けまして、各都道府県において、夜間中学校を設置するためのニーズ調査を行うことになりました。夜間中学校というのは、15歳以上で中学校を卒業していない人、不登校等で義務教育を終了していない人等が対象となります。11月から県内一斉にアンケート調査を行い、それをもとに、夜間中学校を設置するかどうかの判断を行います。県の考えとしては、ニーズ調査結果にもよりますが、県内に1校程度設置したいようです。

また、学力調査の結果を踏まえ、各市町村の学力向上についての意見交換がありました。その中で、小中一貫教育の取組が軌道に乗ってきた成果等の意見が出されました。多くの市町村で市町村雇用による教師で少人数学習等を行っていました。

- ・10月30日（月）西都児湯いじめ問題対策専門委員会（西都市）

委員の皆様には今後報告しますが、各市町村で作成しているいじめ基本防止基本方針の改正スケジュール等について、郡内で確認を行いました。

11月行事予定）

- ・11月 2日（木）11月期定例教育委員会（リパリス）

高鍋町美術館で武者小路実篤展（人間萬歳展）開会式

- ・11月 8日（水）文化財問題に係る第9回口頭弁論（宮崎市）

- ・11月12日（日）木城町杯アーチェリー大会（山塚運動広場）

- ・ 11月14日（火）日向新しき村開村100周年第2回実行委員会（リパリス）
事業計画等協議し、決定していきます。
12月の定例教育委員会の中で報告できると思います。
- ・ 11月18日（土）～19日（日）毛呂山町訪問及び東京木城会（東京都他）
教育課からは、教育長と白岩補佐が出席します。この中で、日向新しき村開村100周年記念事業の際、特別展示を計画していますが、毛呂山町から作品等を借りる予定にしており、その協議も行っています。
- ・ 11月20日（月）市町村教育委員会連合会研究大会（宮崎市）
教育委員全員と教育長、課長で出席します。
- ・ 11月21日（火）教育の情報化研究公開（西米良村）
教育長と外山専門監が出席します。
- ・ 11月26日（日）町民体力づくりスポーツ大会 ソフトボール（町総合運動場）
9チームの参加で行われます。
- ・ 11月29日（水）児湯地方教育委員会秋季研修（延岡市他）
福祉大学、支援学校の視察研修となっています。
委員の皆様の出席をお願いします。

中竹教育長

- ・ 質問はないでしょうか。

原委員

- ・ 文化財問題に係る裁判等の現状を教えてください。

教育長及び白岩補佐

- ・ 現状の説明を行う。

中竹教育長

- ・ 高城合戦シンポジウムについて報告をお願いします。

白岩補佐

・ 10月28日（土）に開催された「高城合戦シンポジウム」について報告します。皆様のご協力を受けまして無事開催することができました。有難うございました。当日は、鹿児島国際大学名誉教授 三木靖氏と、奈良大学教授 千田嘉博氏を迎え、高城合戦の意義等について、基調講演とパネルディスカッションを行いました。また、パネルディスカッションのパネラーには、原朋輝委員も参加して頂きました。町内外から約300名の参加で盛会に開催されました。町民方々に、高城合戦をより身近なものに感じてもらうために実施しました。公園整備と文化財としての価値という問題については、今後も議論、協議していく必要があると思います。

中竹教育長

- ・ 高城跡（城山公園）を今後どのように生かしていくかが問題となります。皆様の協力

をお願いします。

(4) 意見交換

中竹教育長

・先日、小中一貫教育学校視察研修を行いましたので、皆さまのご意見を伺いたいと思います。課長が、2日間の研修報告をします。

教育課長

・10月11日及び13日の研修視察について、まとめた資料により報告を行う。
延岡市 北方学園、美郷町 美郷南学園、日南市 東郷小中学校、新富町 新田学園
参加者・・・教育委員全員、教育長、課長、外山専門監

中竹教育長

・以上、説明が終わりましたのでご意見ををお願いします。

原委員

・印象深かったのは、新田学園です。施設の改修も小中一貫教育に対応した整備となっていました。美郷南学園では、4-3-2制で一貫教育を行っているのですが、校長の話の中で、4月に教職員全員に小中の兼務命令を発令し、学校の理念等を全職員で共有するとのことでした。教職員が戸惑うのではないかと感じていましたが、他の学校でもスムーズに移行できるとのことでした。また、小中一貫校になると校長いわゆるリーダーが一人なので、学校経営等の方向性、意思決定が小中連携よりもやりやすくなるのではないのでしょうか。

柄本委員

・北方学園については、小規模小学校を合併し、小中一貫校にしたため、当初児童生徒数の大規模化によるギャップが見られ、その解決に向けた取り組みについて話されたのが印象的でした。美郷南学園については、まず、児童生徒が明るいなあという印象を持ちました。児童生徒数の規模が少なく、木城町のケースとは違うと感じました。校長の強いリーダーシップのもと、学校経営方針がしっかり教職員全員に浸透しており、うまく回っているのを感じました。校舎もコの字型で造られており、4-3-2制に対応していました。東郷小中学校は、6-3制で実施しており、また、校舎も同じ敷地ではありますが、旧校舎を改修して使っているため、一貫教育というより連携教育と感じました。新田学園については、児童生徒数の規模的にも、木城町と変わらず、また、校舎についても、小中一貫教育を前提とし、ゆとりを持った施設整備を行っていました。

鳴海委員

・いろいろなパターンの学校を視察しましたが、児童生徒数によってよりよい方法は異なると思います。また、小中一貫教育を行うのであれば、6-3制よりも4-3-2

制に取り組むべきだと思いました。また、義務教育学校制度についても、一貫教育との違いを含めて研究したいと思います。

牛田委員

- ・木城の場合は、小中学校が1校ずつなので、小中一貫校に移行してもスムーズに移行できるのではないのでしょうか。小中一貫教育になると9年間の学校生活となります。小学1年生と中学3年生とでは、考え方、体格等について大きな差がありますので、児童生徒はもちろん、教職員もしっかり対応していかなければならないと思います。小中一貫教育及び施設については、児童生徒数規模においても新田学園が参考になるのではないのでしょうか。

中竹教育長

- ・私も皆さんとほぼ同じ考えですが、美郷南学園は4-3-2制を取っているのですが、出口、入口が1つで卒業式、入学式はそれぞれ1回でした。他のところは2回行っていました。一貫教育を目指すのであれば、9年間を分けて、力をつけてステップアップするために、4-3-2制がいいのではないかと思います。義務教育学校については、教員が小中学校の教員免許を持っていないといけない等の制限（現在は必須ではない）がありますが、内容等詳細についてはわからない部分も多いです。

課長

- ・義務教育学校についてですが、11月14日に県の学校政策課を訪問しまして、本町の現状を話したうえで、木城町教育委員を対象とした研修会を開催して頂くようお願いに行くことになっています。実施の際は、参加をよろしくお願いします。

柄本委員

- ・義務教育の充実を図るために、小中学校は連携と一貫はどちらがよいのかと考えた時に、研修に行く前は、小中連携で十分なのではないかと思っていました。また、小学校と中学校の教師で文化（考え方）の違いがあることが分かりましたが、一貫教育校にすることでそのような違いを埋めることができ、分かり合えるのではないかとも思いました。そのいい影響が子どもたちにも伝わっているのかなとも感じました。

外山専門監

- ・小中連携になると、小中学校それぞれにトップがおり、それぞれに学校経営方針がありますので、やはり教師は別々の学校というとらえ方をします。一貫教育のメリットは、教師一人一人が、9年間を見据えた教育ができる、一つの学校の児童生徒としてとらえ教育できるということではないのでしょうか。一貫教育の運用についても、今回の研修で多様なパターンがあることが分かりました。変わらないのは、カリキュラムです。

中竹教育長

- ・教師においても、一つの学校で、9年間の成長を見て感じ取ってほしいという希望は

あります。また、木城町において、どのように進んでいくのかを決定しなくてはならないと思います。

鳴海委員

・校舎建設の問題もありますので、早急に方向性を決定した方がいいと思います。

中竹教育長

・皆さんの意見を聞くと、小中一貫教育へシフトしてきているようにも思います。義務教育学校の研修を行って、教育委員会で決定し、教育会議において町長に説明を行いたいと思います。

原委員

・校舎建設にあたって、モデル校となるようなものを創っていききたいですね。

中竹教育長

・その他についてないでしょうか。

原委員

・行事等参加のあと、行事参加時にお礼を言われますので、改めてのお礼状は不要ではないでしょうか。

中竹教育長

・学校等の事情もあると思いますが、校長会で繋いでおきたいと思います。

(5) 次回定例会日程

12月1日(金) 9時から リバリス1会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

会議録署名委員
木城町教育委員会

教育長

中竹 聖子

委員

原 朋輝